

## 暮らしに寄り添い、 さまざまな政策を実現してきました。

### 1. 鶴ヶ峰駅付近は、便利に生まれ変わります。

私が市会議長当時に力を注いだ「鶴ヶ峰を連続立体にすること」は、10年後の2033年に完成予定です。西谷駅から二俣川駅間の約2.8kmの鉄道を地下化し、10箇所の踏切を除去します。区民みなさんの念願を実現しました。

これにより、車渋滞と通勤通学の不便が解消。また鶴ヶ峰駅北口周辺では、連続立体交差事業と街づくりを一体的に進めます。鶴ヶ峰は再開発での利便性向上が期待され、子育て世帯も住みやすい街へと生まれ変わります。

### 2. 「相鉄・東急」の直通化は、今春3月18日開業！

相鉄・東急直通線開通により益々利便性が高まる旭区。通勤・通学にも便利になり、今後

は更に子育てし易い環境を整え、誰もが住み続けたい街へと進化させて参ります。

### 3. テーマパーク誘致構想が実現しました。

4年前に掲げたテーマパーク誘致構想が実現します。上瀬谷通信施設跡地で行われる2027年の国際園芸博覧会の跡地利用の核となるのが、日本が持つ文化や芸術、地域資源が融合した

次世代に向けたテーマパークです。多くの人が行き交い、経済が活性化する新たな横浜の拠点となります。本年夏頃にはテーマパークの運営事業者が決定致します。

### 4. 73カ所の福祉施設を誘致しました。

これまでに旭区はじめ横浜市内へ、市内外からの事業者による施設誘致を積極的に実現してまいりました。病院、保育園、特養、老健施設、

有料老人ホーム、高齢者グループホームなど合計73施設を開設する事ができ、多くの市民の方々に喜ばれています。

### 5. 中学生の給食がスタートします。

懸案でありました温かく美味しい中学校給食の実現に尽力させて頂きました。工場建設等の準備があり令和8年度スタートとなります。



### 6. 財政健全化に努めてきました。

自民党市議団団長在任中、議会主導の事業仕分けを行い、市民参加の公の場で、税金の無駄遣いに切り込みました。結果幾多の事業を廃止させ、民間移譲も進め、財政健全化の道筋をつけ

ました。その後、自民党主導で財政健全化条例を制定し、首長が甘い予算を計上出来ないよう歯止めをかけています。

### 7. 大胆な行政改革を推進しました。

赤字経営で補助金頼りの市立病院を民間に経営委託する際、自民党の改革派議員のリーダーとして、反対派多数、労働組合から支援を受ける現在の立憲民主党議員や共産党、また自民党の中にも旧態依然とした議員が沢山いま

したが、険しい道のりを同志と共に民営化を推進し、抵抗する勢力に打ち勝ち黒字化経営に導きました。正に政治家冥利に尽きる大胆な行政改革を成し遂げました。

旭区  
全域版

## 横浜市議員 佐藤 茂 政策レポート



- 昭和30年2月13日生 ● 関東学院大学文学部卒 ● 衆議院議員 佐藤一郎秘書
- 平成3年横浜市議員初当選 ● 社会福祉法人恵泉会代表
- 自民党横浜市連幹事長・会長代行 ● 横浜市会議長歴任

旭区は緑の多い緑比率が市内No1。  
身近で緑の憩いを感じられる素晴らしい街です。



### 安心できる街から、子育て支援も充実した街へ！

住み易く暮らし易い街づくりには、身近な場所に緑や公園があり喧騒がなく心地よい環境が必要です。地域に公園や市民の森として緑を残すこと、水辺として大切な川沿いには親水緑道造りも推進し、身近な地域で少しでも安らぎを感じられる憩いの環境を整える事を念頭において、地域の声を市政に反映して参りました。



### 高齢者にも子育て世代にも、住みやすく魅力ある街へ。



高齢者人口が市内で一番多くなる事を見越し、高齢者福祉施設も多数誘致して参りました。高齢者の方々に住み慣れた地域や家庭において介護を受ける事のできる安心・安全な街として住み続けられるよう、介護の質の向上にも多くの施策提言を行って参りました。現在旭区は継続して住み続ける割合が横浜で1番高く、データの上でも横浜で1番住み心地の良い街に成長してきました。相鉄線が JR や東急線とも直通化する今現在、子育て世代に住み易い環境を整え、魅力を感じ移り住みたいと想えるよう、子育て支援施策の充実が求められています。4月から‘こども・家庭庁’が発足します。時宜を得た中、旭区がより子育てし易い街となるよう今後とも施策充実に努めて参ります。

私も応援しています



衆議院議員  
古川 なおき

市政運営のため佐藤茂先輩は、欠くことのできない逸材です。

佐藤茂先生は豊富な政治経験を活かし、相鉄線とJRや東急の直通化、全国都市緑化フェアなど菅前総理とも一緒に取り組み貢献されました。政治は政策立案と政策の実現力です。今後も鶴ヶ峰駅付近連続立体交差事業や、2027年国際園芸博覧会など横浜市と国の連携が大切であり、茂先生の力が必要です。これからも佐藤茂先生の活動にご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# 世界で最先進のスーパー・がん健診センターと ウエルネス&メディカル施設の構想を実現させます。

横浜市民とアジアを始め世界中の富裕層の為に、  
横浜に世界で最先進の医療技術を提供出来るがん健診センター構想を提唱しています。  
加えて、日本が誘致を決めた国際保健機関（WHO）のユニバーサルヘルスカバレッジセンターを  
横浜に誘致することが出来れば、  
横浜市が目指す「未来へつなく国際都市・横浜」の実現に大きく貢献できることになります。

我が国の医療技術の信頼性の高さは世界有数のものであることは言うまでもありません。一般に医療先進国と呼ばれる国は幾つかありますが、医療の質の高さ、適切な診療で疾患を妨げ、回復させる高度医療技術に於いて日本が世界1であることは国際機関である経済協力開発機構（OECD）の主要統計を見ても明らかであります。

私は多くの先進医療に携わる方々と交流を持たせて頂いておりますが、日本の成長戦略の柱の1つで、政府の方針のもと健康・医療の国際展開を実践し、国際医療協力を推進する日本の組織で、日本の優れた医療技術や人材を海外の要請に応じ、その必要なプラットフォームを組成し提供している MEJ(メディカル・エクセレント・ジャパン)という社団法人があります。MEJの笠貫理事長は私の提唱する世界最先進のガン健診構想の良き理解者であります。

笠貫理事長曰く、海外で日本の医療技術を信頼する方は多く、出来れば先進的な医療技術の健診や診療を受け、日本で治療を受けたいと希望を持つ方は、多くの国々にいるそうです。

一方、世界の医療・健康産業は、すでに自動車産業400兆円の3倍以上の1400兆円を超える巨大な産業となっております。この流れは、アジア、アフリカを中心に更なる大きな成長が期待されております。ところが、日本には世界の健康・医療需要を取り込めるフラグシップとなる病院や世界中のウエルネスを体験できる拠点がまだ存在しておりません。

世界最先端の医療を出産から終末期まで受けることの出来る病院群を中心に据える必要があります。例えば、海外の著名な病院を誘致し、海外の方には自由診療なので高額な料金を支払って頂きますが、横浜市民の皆様には健康保険で治療していただくことができます。

また、不定愁訴という言葉があります。検査しても異常はないが、だるさや頭重感など、つらい不調の症状を言います。このようなとき、漢方治療を受けたらよくなった経験をお持ちの方もおられると思います。世界の様々な代替補完医療を誘致して、医療関係者の一定の監修のもとで受診できるとしたら患者さんにとって選択肢が広がることとなります。

一方で、今は健康でも老後に不安を感じられている方も多いと思います。世界中の最先端のヘルステック企業が提供するデバイスを体験して健康状態をチェックしながら、健康を維持していくこともできます。医師が監修のもとでデータ活用ができる場所になれば、ヘルステック企業にとって魅力的な開発拠点ともなります。

また、メタバースを活用した様々な疑似体験の場を提供することもできます。横浜にしながら、世界トップクラスの医師から診療を受けることや、遠隔手術を日本から提供することなども技術的に可能となっております。これらは法整備が必要になりますが、特区として認められれば新たな可能性が広がります。特に、高齢者の方にとって医療はもちろんのこと、海外旅行やスポーツなどをメタバースで体験し、新たな楽しみを見つけることができます。

さらに、健康を意識した世界中の料理を食するレストラン、医師などの専門家が常駐する長期滞在が可能な施設を誘致出来れば、世界最先端のスーパー・がん健診センターとウエルネス&メディカル施設を体験しながら、高齢者から子供まで楽しめる世界唯一の「ウエルネス&メディカルランド」となります。

横浜市が目指す「未来へつなく国際都市・横浜」の実現に向け、全力で邁進してまいります。是非、皆様のご支援をお願いいたします。

## 「子育て支援・少子化対策に関するアンケート結果」

旭区の子育て世代にアンケートを実施しました。テーマは3点。東京都が適用する第2子の保育料無償化。病児保育。子どもの数が多い世帯ほど所得税が軽減されるフランスの税制「N分N乗」方式。3点について貴重な意見をいただきました。しっかりと、政治に反映させて参ります。

### 第2子の保育料無償化について

良いと思う／88.2%

無償化になったら第2子や第3子を育てたい／49.5%

この政策は少子化対策になる／47.6%

※横浜市でも無償化が必要という回答は78.2%でした。

### 病児保育について

利用したことある10.9%。

利用したことがある人から、徒歩や自転車で通える圏内に病児保育がない／60.5%。利用の申込み方法が分かりにくい／39.5%。と、意見がありました。

※病児保育を検討したことがない／45.4%、利用したいができなかった／42%でした。

### N分N乗方式の税制について

良い政策だと思う 63.9%

どちらとも思わない 28.6%



ご協力ありがとうございました。  
横浜の子育てプランに活かしてまいります。

### アンケートの声(一部抜粋)



- ◆ お金があれば何人でも子度を産みたい。物価高、税金が高くて手元に残るお金がほとんどない。将来を考えるとこれ以上は産めません。
- ◆ 保育園申込みの際、最後に高収入の人を落とすのはやめて欲しい。なぜ高額納税しているの方が優遇されないのでしょうか。
- ◆ 自宅で子育てしたいのですが、夫の収入だけでは育てることができず仕事復帰します。金銭的にも余裕がなく自分の気持ちだけが置いていかれます。
- ◆ 横浜市の病児施設は受け入れ人数が少ない。ましてや軽度の病児だと受け入れてもらえない。
- ◆ 保育料無償化よりも保育士さんの賃金アップの方が優先度は高いと思います。現状、6人の一歳児を一人の先生が見るのはかなり無理があると思います。
- ◆ おむつ支援便や児童手当の拡充等に力を入れて欲しい。

※アンケートの中には、中学校給食実施への要望も多くありました。3月の市議会で可決しますが、令和8年度より中学校給食が始まります。